

第 112 号

育成会

# 会報

令和3年度版

発行所

一般社団法人

広島県手をつなぐ育成会

広島市西区打越町17-27

育成会総合福祉センター内

TEL (082)537-1773

FAX (082)537-1778

編集責任 金子麻由美

## 「夢と希望とロマン」を求めて

広島県手をつなぐ育成会 常務理事・事務局長 中尾 秀行



令和三年十月一日、前任者の藤岡哲常務理事の退任に伴い任用していただきました中尾秀行です。どうかよろしく願います。まだまだ慣れないことも多く、戸惑うこともあります。広島県手をつなぐ育成会事務局のスタッフのみならず、広島市の皆様のお陰で楽しく業務をさせていただいています。適切な事務の遂行と県内地域育成会、施設保護者会、事業所協議会の皆様のお役に立ちたいと思います。広島県手をつなぐ育成会の充実・発展のため、何よりも障害のある本人の皆様が日々安心して光り輝いて生きていくことができるようお力になればと思います。

令和三年三月三十一日をもって広島市立広島特別支援学校を退職しました。十二年間の長きにわたり、広島市立広島特別支援学校の校長として勤めさせていただきました。これも、児童生徒、保護者の皆様、地域の皆様のお陰と厚く感謝申し上げます。小学校教員からはじまり、特別支援学校で教職にピリオドを打ちましたが、何よりも、多くの児童生徒との出会いがあったからこそ続けることができました。これまで出会った児童生徒から、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導と必要な支援の重要さを学び、児童生徒の学校生活を通して、自立と社会参加を目指し、生きる力を育むことにまい進することができました。適切な指導と必要な支援のためには、「人的支援環境」と「物理的支

援環境」を整えることが必要です。学校においては「人的支援環境」とは、教職員のことです。一人一人の児童生徒を取り巻くすべての人を指しているということです。児童生徒に向かう「言葉かけ」だったり、姿勢・態度、距離感だったりします。「物理的支援環境」は、教材・教具や学ぶ場などがあります。具体的に、タブレットやカードなども含まれます。この適切な指導と必要な支援が、幼少期から学齢期、学齢期以降の教育の場、青年・成人期まで、「つながる」ことが重要です。育成会が取り組んでいる「サポートファイル」の活用がその一つです。「サポートファイル」は、児童生徒を含む「子どもたち」の「よりよく生きる」ための指南書です。どのような指導・支援が必要なのかが一杯込められた「宝石箱」です。学校を卒業する前は、「仕事心配」なのですが、卒業後の保護者と話をした時、「親が年老いたり亡くなった後」のことが心配なんです。「とよく聞きます。当会の取組の一つには、「親なき後」に活用できる「親心の記録」というファイルの作成があります。園・学校の教職員は、そのような保護者の思いに触れたり、受け止めることが求められます。学校卒業後の生活は、長い航

海の始まりです。卒業までに積み上げられた学びがいよいよ生かされていくのです。教師がその意識をもって、日々の教育活動を行ってほしいと願ってきました。

広島県手をつなぐ育成会は、学校卒業後の親の会ではありません。知的障害・発達障害のあるすべての保護者や本人が互いに「手をつなぎ」、本人の豊かな人生のために活動する会です。学校卒業後に働く事業所も同様です。相談事業や研修事業も行っていきます。現在、新型コロナウイルス感染症の今後が見通せない状況です。社会・経済も見通しがもたれにくい中、園・学校も、親も子も、社会も「手をつなぎ」、一緒にチャレンジして行きたいと思えます。「夢と希望とロマン」を求めて。

「困った子」はいないので。「困っている子」がいるのですから。

### 令和4年度

中国・四国大会（広島大会）のご案内

開催日：令和四年十月二十三日（日）

時間：十二時四十五分～

十六時三十分

場所：広島市立広島特別支援学校

開催要項等は五月下旬頃に

お送りいたします。

### 令和三年度、新しく副会長に就任された皆様に

お言葉をいただきました。

### 課題解決に向けて前進を

三原市手をつなぐ育成会会長

岡田 雄 幸



新型コロナウイルス感染症は全国に六波の大きな波をもたらした三年目を迎えています。

この間、私たちはマスク着用、手指消毒、密を回避するなど感染予防策を講じてきましたが、新たな変異株の襲来により引き続き日常生活や経済活動の制限を余儀なくされています。

「広島県手をつなぐ育成会」においてもコロナ禍の影響は大きく、事

### 広島県事業所協議会の

### 活性化を目指して

(社福) やぎ管理者

広島県事業所協議会代表

春 木 強



令和元年度より理事・広島県事業所協議会代表に就任し今期より副会長を仰せつかりま

したが、このコロナ禍で思うような活動ができていないのが現状です。来年度に向けて活動が停滞している

業や行事は中止ないしWEBでの開催となり、会員の皆さんとの情報交換や交流を図る機会が失われ、とても残念な思いでいっぱいです。県育成会活動が制約される中で、令和二年度においては金子会長、藤岡常務、郡司事務局員がそれぞれの地域育成会、施設保護者を訪問され、様々な意見を聞いて回られました。そこで見えてきた課題は、新規会員の減少、重度・高齢化への対応についてです。こうした育成会の課題を会員みんなで共有し、問題解決に向けて前に進めればと思います。私も微力ではありますが、一緒に考えていきたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。

事業所協議会を活性化するために三役・事務局のご助言をいただきながら加盟事業所に情報提供や研修への参加を呼びかけていきます。

また、育成会活動を通して加盟する事業所が日中活動の場としての役割だけでなく、それぞれの地域の中で障害の有無にかかわらず高齢化しても安心して暮らし続けることができるために必要な支援体制を取る拠点となる、魅力ある活動に取り組みでいけるよう連携を図っていきます。現状に甘んじることなく与えられた役割を果たすために、力を注ぎたいと考えています。

### 広島県手をつなぐ育成会の

### 副会長を受けて

NPO法人神辺育成会理事長

瀬 良 京 子



私と育成会との出会いは約四十年前です。育成会の大会だったと思いますが衝撃でしたが、親が動

た。その時耳にしたことは、親が動かないでどうする。また、会場を見たとき高齢の親御さんが多いこと。の二点でした。障がいのある子の置かれてる環境はまだ不十分でした。それ故、親は我が子より一日でも長く生きたいと言われていました。それからの人生は絶えずこの

### 障害のある方たちの

### 豊かな生活づくり

広島市手をつなぐ育成会

柏 田 潤 子



この度、広島県手をつなぐ育成会の副会長を拝命いたしました柏田潤子でございます。

広島市手をつなぐ育成会に入会以来、親子共々たくさんの方から様々なご支援をいただき、お陰様で子どもの進む未来にも灯りがともりつつあるのを実感しています。僣越ながら、お力になりたいことがいくつもあります。

とを思い浮かべての年月でした。私なりに今日まで取り組んで来ましたが決して十分な物ではありませんでした。その様な中で副会長の役を仰せつかり、随分悩みましたが今私にできることをさせていただくことにしました。

現在サービスマニュアルは随分整ってきています。でも親が我が子の人生をどのように描いているか。可愛いと思うだけでは親の役目は果たせません。親も情報をしっかりと得て、一人の人格をもった子どもたちとして必要な支援が得られるよう環境作りをしていく必要があります。親が先に逝くのは当たり前と思うと、今やるべきことは何か考えてみることにします。私は、皆さんと一緒に歩みたいと思います。

支部間のスピーディな情報共有の実現。情報通信技術を活用した会合の開催。そして、あび隊などの権利擁護の啓発活動の強化です。支部の地域課題を図式化して一目でわかるよう可視化を図ることで、スピーディでわかりやすい情報共有が可能になると思われます。オンライン等の情報通信技術を活用することで、必要な時にすぐに繋がる形を作れます。あび隊等により人権啓発を行うことは、優しい気持ちを育み地域貢献にもなります。

皆様のお力をお借りしながら、障害のある方たちの豊かな生活づくりに努めてまいります。どうぞよろしくお願いたします。

令和4年1月17日の報道された、廿日市市の重症心身障害者の入所施設での虐待事案について、広島県手をつなぐ育成会会長として次のとおり声明を発表いたします。

## 廿日市市障害者施設で起こった虐待事件についての声明 —障害児・者の虐待の根絶を願って—

令和4年1月17日、廿日市市の重症心身障害者の入所施設で、看護師7名が入所者12名に対してわいせつな発言をしたり、嘔吐した入所者を強く叱ったりするなどの虐待が繰り返されたことと報道がありました。これは、高い専門性と職業倫理を有するはずの看護師がこのような虐待事件を起こしたとすれば、決して許されるものではありません。

被害に遭われた利用者の不安や恐怖を思うと、私たち知的・発達障害児者の家族としては悲しく、辛い気持ちでいっぱいです。

私たち家族は、障害があっても懸命に生きる姿から、そして時にそのやさしさや思いやりや笑顔からたくさんの幸せをもらっています。人は障害者である前に一人の人間であり一つの人格です。一人一人が、かけがえのない大切な存在なのです。

「障害者は、人に頼ることが多い人たち」と思われるかもしれませんが、人の手を借りずに何でも一人でできる人間などいない、という当たり前のことに目を向けてほしいと思います。誰もが、この社会で安心して安全に暮らしたいのです。

加害者である職員を解雇したとの報道ですが、加害者は、被害者の受けた傷に真摯に向き合い、被害者に対して誠意ある謝罪を求めます。また、虐待を防ぐことができなかった運営法人は、なぜ事件を防ぐことができなかったのか、運営や管理体制、支援の在り方など、真実を隠蔽することなく真実を明らかにするとともに、再発防止のための具体策を立案公表して責任を明確にしてほしいと思います。

運営法人を指導する立場にあった広島県および廿日市市の行政は、同法人への関与の在り方が適当であったか見直すとともに、事件の背景について専門家の協力も仰ぎながら真実を調べ、施設から提出された再発防止のための具体策が実行されるよう、私たち広島県手をつなぐ育成会、虐待事件が生じた廿日市市にある廿日市市手をつなぐ育成会は、広島県と廿日市市の行政に対し要望書を提出しました。

施設利用者の皆様、保護者・支援者の皆様にとって、安全が確保され、不安や恐怖を感じ続けることが無いよう切に願うものです。

広島県手をつなぐ育成会としましては、こうした悲惨な事件が繰り返されないよう、障害の理解・啓発活動を行い、施設が本来の機能を果たし関わる職員が健全に支援できるように、各方面と協力しつつ障害者虐待防止や障害者の権利擁護等の研修を強化してまいりたいと考えます。

令和4年2月18日

一般社団法人 広島県手をつなぐ育成会  
会長 金子 麻由美

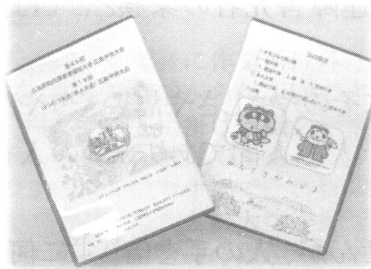
## 第46回広島県知的障害者福祉大会広島中央大会 第19回はつらつ大会(本人大会)広島中央大会を終えて

新型コロナウイルスのパンデミックで、今大会の1年間の延期や感染拡大に伴うDVD作製など想定外の連続でした。感染状況次第で見通しが立ちませんでした。育成会本部と現地事務局との連携を図り、現地事務局一丸となってポジティブな気持ちを切らすことなく何とかやり遂げた思いです。しかしながら、対面での開催ができなくなってしまったことは残念でなりません。本人部会での仲間同士の交流やレクリエーション。親御さん同士の交流や竹内昌彦先生のご講演を生で聴講して肌で感じていただけなかったことに悔いが残ります。

そのような状況下で、竹原市内にて一部の限られた人数ではありますが、本人大会を実行しDVDとして皆さんへ発信できたことを嬉しく思います。

DVDとして「記録」として残りますが、皆さんの「記憶」として残らなければならないものだと考えます。来年度こそ、対面で開催できることを心から願っています。

大会事務局



DVD表紙

DVDは広島県手をつなぐ育成会各支部にお送りしています。ぜひご覧ください。



演題「私の歩んだ道～見えないから見えたもの～」  
でご講演いただいた講師のヒオカリカナタ基金  
理事長 竹内 昌彦 氏

### 第四十六回広島県知的障害者福祉大会 広島中央大会 決議文

私たちは、第四十六回広島県知的障害者福祉大会広島中央大会を、黒瀬川を有する自然豊かなまち、東広島市黒瀬町で開催する予定にしておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、DVDを作成する形で大会の開催といたしました。暮らしにくさを抱えている人々を地域で支えていくための取組や、市民に「手をつなぐ育成会」の活動を知っていただく大会にしたいという思いを込めて多くの方に見ていただきたく作成いたしました。

昨年より蔓延している新型コロナウイルス感染症により、障害者の生活は厳しい状況にあります。新しい生活様式を取り入れたり、感染予防のためのPCR検査やワクチン接種を実施したりすることが困難な方への理解と配慮が必要です。

近年、行政等の公的機関の多くで障害者雇用の水増し問題もあり、「障害者雇用促進法」で障害者雇用の向上が義務付けられました。雇用の場の拡充や障害特性に応じた就業先の確保、就労を継続するためのサポート体制づくりの充実が求められています。

国においては、今年度「福祉サービスの報酬改定」が行われて、また五月には「障害者差別解消法」が改正され、民間でも合理的配慮が法的義務になることが決まりました。益々共生社会を進め、地域生活をより充実したものとすることが重要とされています。

私たちは、この大会を通して、本人が地域の中で「健やかに、幸せに、逞しく」生きていけるようにしていかなければなりません。

本大会の名において、以下の事項をここに決議します。

- 一、新型コロナウイルス感染症を含む災害への支援策を確立し、対応の強化を図ること。
- 一、幼児・学齢期における子どもたち一人ひとりのニーズに応じた療育及び教育の充実を図ること。
- 一、一人ひとりの働く意欲を尊重し、自立した社会生活を送るため、雇用の促進・拡充を図ること。
- 一、幅広いニーズに対応した相談支援体制を充実させること。
- 一、あらゆる場での虐待防止を徹底し、差別的解消に向けて県民の理解・啓発を図ること。
- 一、親なき後も安心して生きて行けるよう、成年後見制度の見直しを行い、環境の整備を促進すること。
- 一、はつらつ大会で決議されたことを真剣に受け止め、実行できるよう支援すること。

以上、決議します。

令和三年十二月二十日  
第四十六回広島県知的障害者福祉大会参加者一同



第十九回 はつらつ大会(本人大会) 広島中央大会 決議文

◎ 私たちは、それぞれの地域で仲間をつくり、つながりあい、力を合わせて色々なことを学び遊び、働き、安心して豊かにくらしていきけるように努力していきます。また、障害のあるなしにかかわらず、思いやりとやさしい心で一緒に生活できる社会をめざして、次のことを決議します。

① 障害のある人たちが災害や地震などにあったときのために、わかりやすい防災マップ、標識、表示などの情報と対策方法を教えてください。

② また、感染症の対策についても、わかりやすく教えてください。必要とする福祉サービスは、住む町や障害の程度に関係なく、制限を設けず、平等に利用できるようにしてほしいです。

③ 障害者が働きやすい職場環境や場所、仕事を増やしてほしいです。自分たちでできることは、自分たちで努力します。できないことや、悩んでいるときは、身近に話せる人や場所を増やしてください。

④ 「自分が自分らしく生きていく力」をつけたいです。そのための、学びの場がほしいです。

⑤ グループホームとショートステイを増やしてほしいです。障害の程度に関係なく、医療費を免除してください。

⑥ いじめ、差別、虐待のない安心した生活ができる社会にしたいです。

⑦ チャレンジ精神を忘れないで本人活動を広め、活発にしていきます。

⑧ 自分ごとだけでなく仲間たちの立場に立つて発言と行動をしたいと思いますので、協力をお願いいたします。

⑨ 私たちの願いが多くの人に伝わり、実現ができることを信じて...以上、決議します。



大会決議文(案)を読み上げる竹原すずらの会の皆さん

令和三年十月二十四日 第十九回はつらつ大会(本人大会) 広島中央大会 参加者一同

全国手をつなぐ育成会連合会で表彰された方

令和2年・3年度は全国大会は開催されませんが、全国手をつなぐ育成会連合会一般社団法人発足記念式典において、表彰式が行われました。広島県からは次の2名が表彰されました。おめでとうございます。



令和2年度表彰者 三上 正浩 氏 (安芸高田手をつなぐ連合会)



令和3年度表彰者 藤浦 忠司 氏 (広島市手をつなぐ育成会)

第46回広島県知的障害者福祉大会広島中央大会で表彰された方 ~おめでとうございます~

- 広島県知事から感謝状を贈られた方
更生援護功労者 村主 武彦 様 東広島市手をつなぐ育成会 会長
施設従事者 原 啓子 様 府中市
施設従事者 近藤 直子 様 社会福祉法人 平成会
広島県手をつなぐ育成会会長から表彰状・感謝状を贈られた方
表彰 古川 誠 様 社会福祉法人 倫 理事長
感謝 井村 律子 様 呉市手をつなぐ育成会
表彰 城本 房江 様 呉市手をつなぐ育成会 呉歌う会
表彰 下花 透 様 呉市手をつなぐ育成会 呉歌う会
感謝 松森百合子 様 広島市手をつなぐ育成会
表彰 三波沙友里 様 広島市手をつなぐ育成会 広島フレンドの会
表彰 今津 美香 様 広島市手をつなぐ育成会 広島フレンドの会
表彰 中谷 綾子 様 広島市手をつなぐ育成会
表彰 木内 順子 様 広島市手をつなぐ育成会
感謝 水戸 静 様 広島県・広島市手をつなぐ育成会



村主 武彦 様



古川 誠 様

## 広島県手をつなぐ育成会支部紹介

### 尾道手をつなぐ育成会

私たち「尾道手をつなぐ育成会」は、昨年60周年を迎えました。「わが子に教育を受けさせたい」「個々の活動の場がほしい」「地域のなかで暮らしたい」という親の願いから始まった活動は、いろいろな人を巻き込み、多くの方々に助けられて活動の場を広げていき、現在の会に至っています。

この間、私たちを取り巻く様々な環境は大きく変化してきました。会の活動も少しずつ変わってきましたし、学齢期の会員の減少などの課題も出てきていますが、「このまちでふつうに生きたいな」という願いに変わりはありません。

現在の会の活動は、会員同士の交流も兼ねた施設見学や勉強会、「おのみち福祉まつり」への参加（バザー等）、卒業生の同窓会などがあります。

福祉まつりへの参加は、以前は施設建設に協力したいという思いで資金作りに力を入れていました。今も活動資金のためのバザーではありますが、会のことをもっと知ってもらうための大切な場でもあると思っています。

同窓会は、卒業後に作業所以外に進んだ子が、同級生と会う機会も余暇を楽しむ場もないという親からの話から、40年程前から年1回ですが、本人・保護者・先生が集まり、ゲームや食事を楽しむ会が始まりました。障害者にも出掛ける機会や場所が広がるにつれて参加者は少なくなってきましたが、楽しみにしている方がいる間はと続けてきました。でもコロナ禍でこの2年間開催できず残念な思いです。

この2年間はコロナ禍で、会員同士の交流や会の活動はほとんどできていない状況です。会員同士が顔を合わせて話をすることの大切さを改めて感じています。時代の変化と共に、本人や保護者を取り巻く環境は変化し、それぞれが持つ課題や願いも多様化していくことと思います。変わる思いもあれば、変わらぬ思いもあると思います。会にもいろいろな変化や課題が出てくるでしょうが、「尾道手をつなぐ育成会」は、これからは会員同士のつながりを大切に、「このまちでふつうに生きたいな」の思いを大切に地道な活動を続けていきたいと思っています。



施設見学会にて、「はいチーズ！」

## はつらつ友の会の活動報告

今年度の活動にも新型コロナウイルスの感染は大きく影響しました。

県大会は現地での開催は中止になり、DVDを作成することになりました。企画した内容も「行政との話し合い」と「決議文の読み上げ」だけになり、現地実行委員の竹原すずらんさんの会のお誘いで行いました。撮影が終わり、感想を聞くと「カメラに向かって話をするのは、ステージで発表するより緊張しました」「現地で皆とやりたかった」とのことでした。

中国・四国大会はオンラインで交流会を行い、その様子をオンデマンドで配信しました。広島県からは六つの地域が参加し、それぞれが工夫を凝らした「お国自慢」を発表しました。少し残念だったのは、音声がうまく届かなかったことがあり、「声が聞き取りにくかったので、自分の声が届いているのか不安だった」という感想もありました。

全国大会は中止となりましたが、「全国Web本人交流会」が開催されました。しかし、開催日が一月九日と、折悪しく広島県内ではオミクロン株が大流行しており、四地域の参加予定でしたが、残念ながら、一地域のみの参加になりました。

はつらつ友の会で毎年開催している「本人による本人のための相談会・交流会」は、コロナが落ち着くまでは開催しないことになりました。

広島県の障害者自立支援協議会、障害者施策推進協議会に本人委員として、それぞれ一名ずつが参加していま

す。こちらもオンラインでのZoom会議が行われており、各地で支援を受けながら、会議に参加しています。

コロナにより、生活様式が大きく変化中、本人たちの交流の仕方とも様々な形が出てきています。遠くの仲間とも距離に関係なく交流できるのは素晴らしいことです。しかし、半面、通信機器の調子や発声などで音声が聞き取りにくいこともよくあり、オンラインでの意思の疎通の難しさも出ています。また、通信するには機器や通信システムの準備や操作が必要でそれも課題の一つです。

こういった課題はありますが、来年度も、一人でも多くの仲間が参加できるように、工夫しながら活動を続けていきたいと思っています。



県大会での「行政との話し合い」の様子

広島県手をつなぐ育成会活動部会  
「コロナ禍での活動報告」

活動部会 徳 永 玲 子  
(呉市手をつなぐ育成会)

昨年、十一年ぶりに内容を見直しリニューアルされた『心をつなぐサポートファイル広島』結愛を、持って、各地で研修会を実施する計画を立てました。

尾道手をつなぐ育成会は圏域を巻き込んで学習会を計画されました。また、廿日市市手をつなぐ育成会では三月に研修会を行う予定でした。しかし残念ながら、いずれもコロナ感染が再拡大し中止を余儀なくされました。

そんな中、はつかいち福祉ねっと(廿日市市自立支援協議会)から、児童発達支援センター・児童発達支援事業所・放課後等デイサービス事業所の職員を対象としたサポートファイル学習会のオフアアがりました。

参加形態は「会場参加」と「リモート参加」の「ハイブリット型」で開催しました。参加者はグループに分かれ「サポートファイルができた理由」「このサポートファイルをどんな場面でどういうふうを活用できるか」「今後サポートファイルに期待すること。早速できること」等を個々に考え、発表・意見交換し皆さんと共有しました。なかでも「サポートファイル記入学習会に参加された保護者の実体験」は、皆さんにしっかり届いたようです。

参加者からは「これをきっかけに子どもと向き合い、ご両親と子ども



の時間を作るきっかけになればと思います。」「具体的な書き方のポイントが聞けて良かったです。」「周知、そして記入のサポートが継続していく必要があると感じました。」「などの感想をいただきました。」「研修会の手法はこれから新しいやり方が出てくると思いますが、大切なのはしっかり耳を傾け地域のニーズに合った課題に対して丁寧に寄り添っていくことだと思います。今はなかなか大きな前進は難しいですが、小さな一歩の積み重ねを大切にしながら来年度も活動を繋げていきたいと思えます。」「支部の皆様、研修会の講師のご依頼があれば活動部会のメンバーが伺いますので、県育成会事務局までご相談ください。」

<http://pref-h-ikuseikai.or.jp>

広島県手をつなぐ育成会

検索

互助制度 (旧付添看護料共済)

この共済は3つの給付制度があります

- ①入院保険 病気やケガで入院したときの補償
- ②傷害保険 本人の傷害(ケガ)の補償
- ③他人への損害賠償金 他人への損害賠償

プランは2つあります Aプラン(12,000円), Bプラン(18,000円) / 年間  
補償内容 (Bプランの場合 年間掛金 18,000円)

入院保険	・付添看護保険料	1日に付き	5,000~8,000円
	・差額ベッド費用	1日に付き	3,000円までの実費
	・入院諸費用	1日に付き	1,000円
	・入院一時金	1入院につき	5,000円
傷害保険	・ケガによる入院	1日に付き	3,000円 (180日限度)
	・ケガによる手術		15,000・30,000円
	・ケガによる通院	1日に付き	1,000円 (90日限度)
	・ケガによる後遺障害		8万~200万円
	・ケガによる死亡		200万円
他人への損害賠償金	・対人・対物	1事故	5,000万円 限度 (自己負担なし)

詳しい資料のご請求、お問い合わせは下記までどうぞ。  
 <<共済事務局>> 一般社団法人 広島県手をつなぐ育成会  
 電話 082-537-1773 FAX 082-537-1778  
 <<保険委託引受会社>> AIG保険会社 広島支店  
 担当 ジェイアイシーウエスト広島株式会社  
 電話 082-511-7025 FAX 082-511-7026

☎お気軽にお電話  
ください。

## 全育連の書籍を販売しています

全育連より発行された各種書籍の販売を行っています。購入を希望される方は広島県手をつなぐ育成会までご連絡ください。

### ●「ひとりだち」2021年改訂版

納税、民主主義、スマホ、周囲とのコミュニケーション…。社会で生きていくためには、様々なことを知らなければなりません。

本書では、知的障害のある人に向けて生活の基本的な情報を、わかりやすく説明するものです。一人暮らしやグループホームなどでの暮らし、企業などでの仕事をはじめようとする人、そうした生活をすでに送っている人などを想定して書かれています。学校で、生涯学習の場で、支援の現場で、ご家庭で、ぜひご活用ください。



ひとりだち2021年改訂版  
1200円+税

## DVD貸出について

広島県手をつなぐ育成会では各種研修会のDVDの貸出を行っています。

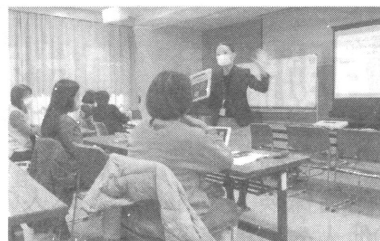
育成会支部での勉強会や地域への研修会などにご利用ください。

### 【貸出リスト】

- 第10回権利擁護セミナーin鳥取
- 第11回権利擁護セミナーin札幌
- 令和2年度育成会フォーラム・行政説明
- 第9回手をつなぐ育成会中国・四国大会  
(高知大会)

## ITサポーター養成セミナーを開催

12月20日、広島県障害者ITサポートセンター情報シンフォニーさんを講師に迎えて、知的障害者の保護者、支援者向けのITサポーター養成セミナーを行いました。コロナ禍で注目を浴びてきた、オンライン会議のやり方やタブレット端末(iPad)の基本操作やアプリケーションについて学びました。参加者から「苦手意識が強かったが、分かりやすく、今後もチャレンジしてみたいと思います。」「ZOOMミーティングも参加は初めてで不安でしたが、和やかな雰囲気、質問もしやすくてよかったです。」などの感想をいただきました。



## 育成会フォーラム・行政説明会 動画配信中

(配信期間 令和4年4月30日まで)

詳しい内容や視聴方法は広島県手をつなぐ育成会のホームページをご覧ください。



広島県手をつなぐ育成会HP  
育成会フォーラムの開催について

### 【お問合せ先】

広島県手をつなぐ育成会

電話：082-537-1773

FAX：082-537-1778

メール：kenhonbu@pref-hikuseikai.or.jp

## 5月の定時総会のご案内

広島県手をつなぐ育成会定時総会は、令和4年5月29日(日)に開催する予定です。

詳しくは別途ご案内いたします。

## 災害見舞金について

全育連より令和3年豪雨災害に係る見舞金が広島県内で被災された会員の皆様に向けて交付され、県事務局より当事者へ直接お渡しいたしました。被害を受けられた皆様に心からお見舞い申し上げます。

全育連では「災害等被災時の被害状況の把握並びに被害支援対応のガイドライン」に沿って、会員の皆様へ様々な支援を行っています。詳しくは広島県手をつなぐ育成会事務局までお問い合わせください。